

CONTENTS

- ① 専用相談窓口「希少がんホットライン」を開設。
希少がんの情報を地域の患者さんや医師へ提供します。
・新任のご挨拶
- ② 新任のご挨拶
・診療科レポート「脳神経外科」

- ・病院からのお知らせ
- ・鶴舞公開講座
- ・ナディック通信
- ・かわらばん HPのご案内

名古屋大学医学部附属病院

理念 ● 診療・教育・研究を通じて社会に貢献します。

- 基本方針 ● 1. 安全かつ最高水準の医療を提供します。 2. 優れた医療人を養成します。
3. 次代を担う新しい医療を開拓します。 4. 地域と社会に貢献します。

〒466-8560 名古屋市長和区鶴舞町65番地 TEL 052-741-2111 (代表)

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/>

ホームページで「かわらばん」のバックナンバーをご覧いただけます

特集 TOPICS ①

専用相談窓口「希少がんホットライン」を開設。
希少がんの情報を地域の患者さんや
医師へ提供します。



名大病院は希少がんの情報を提供する「希少がんセンター」に、専用の相談窓口「希少がんホットライン」を開設しました。センター長の小寺泰弘教授に、センター設置の背景やホットラインの取り組みなどについてお話を伺いました。



私自身は、国のプロジェクトである希少がんの診療ガイドライン作成に携わってきました。その活動の中で、専門家同士がつながることで情報が集まるようになり、少しずつではありますが希少がんに関する研究が進んでいます。こうした動向を踏まえ、当院では全国でも先駆け的に、希少がんに関する適切な医療情報を提供し、診療科を越えて希少がん患者さんに対応す

希少がんの情報を患者さん・ご家族・医師に提供

人口10万人当たり6例未満の珍しいがん
希少がんとは、年間の罹患率が、人口10万人当たり6名未満のがんと定義されています。希少がんの種類は幅広く、頭頸部のがんや十二指腸がんといった「〇〇がん」と名のつくものほかに、肉腫や脳腫瘍などの悪性腫瘍も含まれます。
こうした希少がんの割合は、がん全体で見ると15%を占め、実は多くの患者さんがいらっしやいます。ところが、個々の症例が少ないためデータ不足で薬剤がない、治療法はあっても保険適応外といった場合が多いのが現状です。そのため希少がんが疑われる患者さんを診る場合、各病院の医師は自身で文献や海外の症例を調べて、治療にあたるほかありませんでした。しかし、個々の医療機関で対応するには限界があるため、国も希少がんに関する取り組みを推進しています。

珍しいがんと言われて治療法が見つからない、病院に行ったがどんな病気なのか診断がつかない、調べても治療法がよくわからないなど、不安を覚えたときはホットラインへお電話ください。お気軽にご相談いただければと思います。

困ったときはホットラインへご相談を
当センターでは各診療科が横断的に対応する体制を確立し、ホットラインへご連絡いただければいつでもご相談に応じています。もちろん、症例によってはデータがなく情報提供が難しい場合もあるでしょう。しかしながら、当院が地域の中核病院として情報の集約・発信センターとなることで、希少がんの患者さんやご家族が治療法を探し回ったり、医師が治療に困ったりというケースを少しでも減らし、患者さんやご家族、地域の医療機関をサポートしたいと考えています。

「希少がんセンター」を設置しました。
8月には、患者さんやご家族、医師からのご相談を受け付ける専用のホットラインも開通し、本格稼働しています。お電話をいただくこと、センターの医師や看護師、院内の診療科が連携して対応を検討し、患者さんやご家族に適切な医療機関や専門医をご紹介するほか、ニーズに対応したサポートを提供します。また、当センターでは今後、患者さんのご家族向けに公開講座や医療関係者向けの研修会なども企画し、情報発信を行うっていく予定です。

「希少がんセンター」を設置しました。
8月には、患者さんやご家族、医師からのご相談を受け付ける専用のホットラインも開通し、本格稼働しています。お電話をいただくこと、センターの医師や看護師、院内の診療科が連携して対応を検討し、患者さんやご家族に適切な医療機関や専門医をご紹介するほか、ニーズに対応したサポートを提供します。また、当センターでは今後、患者さんのご家族向けに公開講座や医療関係者向けの研修会なども企画し、情報発信を行うっていく予定です。

【希少がんホットライン】
受付時間
月曜日、水曜日、金曜日（祝日を除く）
10:00~14:00
電話番号（相談無料）
☎052-744-2667（通話料金がかかります。）
※利用案内、相談案内は右記QRコードよりご確認ください。

希少がんホットライン
利用案内

新任のご挨拶

呼吸器内科長／教授 石井 誠

この度、令和4年6月1日付で、呼吸器内科の診療科長／教授を拝命致しました。紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

呼吸器内科は、肺癌、肺炎などの呼吸器感染症、喘息・アレルギー、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎など、幅広い呼吸器疾患に対応しております。これらの幅広い多彩な疾患に対して、多くの科と連携させていただきながら、患者さんに安心安全で、大学病院ならではの高度な診療を提供してまいります。どうぞ皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



血管外科長／教授 坂野 比呂志

この度、令和4年8月1日付で血管外科教授を拝命しました坂野比呂志と申します。紙面をお借りしてご挨拶させていただきます。

血管外科は脳、心臓以外の全身の血管疾患を診る診療科となります。日本では心臓血管外科という診療科が多いですが、欧米では心臓外科と血管外科が独立してあることが一般的で、当院でも同じ形を取っており、それぞれの強みを生かして、質の高い治療を提供しています。私たちは特に複雑なステントグラフト治療を含む最新の大動脈治療や重症虚血肢に対する救急のための血行再建術を得意としております。血管の病気でお困りの際はいつでもご相談ください。



新任のご挨拶

光学医療診療部長／講師 中村 正直

この度、令和4年6月1日付で光学医療診療部長を拝命致しました中村正直です。ご挨拶の機会をいただきありがとうございます。

同部では各臓器の内視鏡診断と治療、腹部超音波診断を中心に診療を行っております。検査予定の多くの患者さんは絶食の状態を受診されます。予約時間とおりの検査に努めておりますが、急患への対応などで遅れが生じる場合があります。検査を待っている間に気分がすぐれない場合などお気軽にスタッフにお声かけください。皆様の健康に繋がる医療ができるよう精一杯尽くしてまいります。



スタッフにお声かけください。皆様の健康に繋がる医療ができるよう精一杯尽くしてまいります。

総合周産期母子医療センター長／病院教授 小谷 友美

令和4年7月1日付で総合周産期母子医療センター・生殖周産期部門・病院教授を拝命いたしましたので、紙面をお借りして、ご挨拶申し上げます。

愛知県内全7センターのひとつとして、生直後に手術が必要な胎児や重篤な合併症の産科管理などを多く受け入れております。合併症予防として保険適用外の治療も一部提供しております。がんサバイバーや慢性疾患を抱える方には、計画的な妊娠を含め、各専門診療科とサポートにあたります。また、臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士、看護師、助産師、薬剤師、遺伝カウンセラーなど多職種でも関わっております。今年度からは、生殖医療が保険適用となりましたので、こちらもご相談ください。



全ての女性の「性と生殖に関する健康と権利」の実現を目指し努力してまいります。今後とも謹んでお願い申し上げます。

診療科レポート「脳神経外科」

脳神経外科長 齋藤 竜太



脳神経外科は、脳・脊髄・末梢神経系を含む神経疾患に対する診断、治療を担当致します。具体的には、脳梗塞、脳出血などを含む脳血管障害、良性・悪性脳腫瘍、脊椎脊髄疾患、てんかん、パーキンソン病などを含む脳機能疾患などが診療領域に含まれます。これらの疾患に対して、小児から成人まで幅広い年齢層に治療を提供しています。

近年の医療機器、診断技術、治療法の進歩は著しく、術中MRI、手術ナビゲーションシステム、脳定位手術支援ロボットなどの先端医療機器を備えるとともに、内視鏡手術、脳血管内治療でも常に最先端の機器・技術を駆使して治療に当たっています。また、小児疾患には小児科、放射線治療に関して放射線科、内分泌疾患に対しては内分泌内科など様々な科とも連携して治療を提供する体制を整えています。希少な小児疾患にはあいち小児医療センター、転移性脳腫瘍など悪性腫瘍に対しては愛知県がんセンター、脳神経救急疾患に関しては日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、術中MRI施設として名古屋セントラル病院とも連携しています。さらに、このような従来の脳神経外科疾患の治療に加えて、本年4月からは脳卒中後疼痛など様々な「いたみ」の治療にも力を入れています。

脳の病気に関するご相談は気軽にお声かけ頂ければ幸いです。

13階東病棟改修工事完了について

病院からのお知らせ



7月12日より、老朽化していた13階東病棟及び個室のリフォームが完了し稼働を開始しました。

鶴舞公園や名古屋市内を眼下に臨む、より快適に治療に専念いただける空間の確保をコンセプトに、リラックス効果の高いブラウンと木目を取り入れた落ち着いた内装としています。また、病室には、特別のアメニティー（シャンパー、リンス、上質なティッシュペーパー等）を整えており、テレビ、床頭台、リクライニングチェアなどの調度品も部屋内装に併せて一新しております。

プライバシーを確保しつつ、快適で気持ち良くお過ごしいただける特別病室となっておりますので、ぜひご利用ください。

Nagoya Disease Information Center

肝疾患診療連携拠点病院 ホームページ



ナディック通信

ナディックの利用休止について

患者情報センター（広場ナディック）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用を引き続き休止しています。

皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

肝臓病教室についてはオンライン（動画配信）で再開しておりますので、詳しくは病院もしくは肝疾患診療連携拠点病院のホームページ（<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/kyoten/liver/>）でご確認下さい。

がん患者さん向けの「ウィッグ・頭皮ケア相談」については外来棟1階「地域連携・患者相談センター」にてがん相談員が随時対応しております。

（問い合わせ先 地域連携・患者相談センター 052-744-2663）



開講日時：令和4年12月17日（土）
13時30分～16時30分
会場：名古屋大学医学部附属病院
中央診療棟 A3階講堂／オンライン視聴
定員（入場無料・要事前申込）：
会場参加90名／オンライン視聴500名
申込締切：令和4年11月25日（金）※先着順

【申し込み方法】

○オンライン視聴の場合

名大病院ホームページより、申込登録フォームにてお申込み下さい。

○会場参加の場合

名大病院ホームページより、会場参加申込書をダウンロードし、郵送またはFAXでお送り頂くか、E-mailにて、「氏名・ふりがな・住所・電話番号・メールアドレス」をご記載の上、お申込み下さい。

（名大病院ホームページ）



URL:<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/>
※トップページ>「病院からのお知らせ」>令和4年度名古屋大学鶴舞公開講座のご案内

★定員になり次第、受付を終了します。
会場参加の場合、受講いただけない場合のみご連絡差し上げます。

★本公開講座のチラシは外来棟各階にも設置しています。

【問合せ・申込み先】

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65
名古屋大学医学部総務課総務係
鶴舞公開講座担当あて
TEL (052) 744-2228 / FAX (052) 744-2785
E-mail : iga-tkk@adm.nagoya-u.ac.jp

【その他】

駐車場のご用意ができませんので、お越しの際は公共交通機関の利用をお願いいたします。

令和4年度名古屋大学鶴舞公開講座
「毎日の健康・明日からの健康…ホップ&ステップ
～感染症・がん・心臓血管病の知識と対策を深める～」

